

# 奈良県人材支援事業

## 奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点について

### 奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点 マネージャー 田中淳司氏

火曜午餐会・11月第2例会を、17日、当部5階大会議室で開催した。講師に奈良県産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室 奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点 マネージャー 田中淳司氏を招き「奈良県人材支援事業 奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点について」をテーマに語って頂いた。田中氏は「コロナの影響もあり不透明な時代だが、奈良県企業がさらに成長するため必要な人材をご紹介します様々な取り組みを知って頂きたい」と語った。講演要旨は次の通り。

#### プロフェッショナル 人材事業とは

本事業は、2015年、内閣府が地方創生の一環として、日本の企業数の99%を占める中小企業を支援しようと立ち上げた。目的は、①地域の中小企業に対して「攻めの経営」への転身を促し、個々の企業の成長及び地域経済の活性化の実現を目指す事と、②「攻めの経営」に目覚めた地域企業と、それを実践するプロフェッショナル人材のマッチングについて、民間人材ビジネス事業者等の機能を通じて促進する事の二つ。東京、沖縄を除く45道府県に拠点を設置し、金融機関などの関係機関と連携し、地域企業に対して「攻めの経営」を実践できる人材ニーズを掘り起こし、民間人材ビジネス事業者や、地域企業との人材交流（出向・研修）を望む都市部大企業に取り次ぎ、当該企業の経営課題の解決や、成長戦略の実現などに向けたフォローアップを行っている。全国で、2015年から5年間で5万件の相談を実施し、1万件余りが成約している。

#### 奈良県プロフェッショナル人材 戦略拠点の取り組み

このように奈良県でも拠点を設置し、県内金融機関や県内経済団

体等と連携しながら人材を紹介しているが、さらに2つの機関を独自に設けている。「県内就労あっせんセンター」は、高度専門人材を奈良県内の企業に無料で紹介する機関。一般人材に対しては「しごとiセンター」を設けており、この2つの機関とも連携し企業の求人ニーズに合った人材を紹介している。奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点では、2016年以降、591件の相談を実施し、98件成約しており、内容的には製造業における専門職が多い。

#### 中小企業を取り巻く 4つの経済・社会の変化

人口減少・高齢化、グローバル化、デジタル化、コロナによるニューノーマルが、中小企業を取り巻く4つの経済・社会の変化と言われている。

#### グローバル化とデジタル化

国際分業によるグローバル化とデジタル化による生産性の向上が、競争を激化させ、イノベーションを起こし、事業の短命化が



進む。私がシャープで商品開発に携わり、当時シェアNO.1だったワープロやFAXが、10年でパソコンやメールに代わったが、今はさらに商品や事業は短命化している。先行き不透明な時代には、事業環境に合わせた「柔軟な人材調達」が必要である。

#### 人口減少・高齢化

奈良県の人口は1999年145万人をピークに減少に転じ、生産年齢人口（15歳～65歳）は20年後には現在の70%になると予想されている。既に奈良県南部の過疎地では高齢化が進み、働き手が少なくなっている事が、統計上明らかである。また、奈良県は県外就業率が埼玉県に次いで全国第2位である。企業は、今後人口減少だけでなく、大阪や京都など県外就職も増えていくことを考慮し、組織の見直しを含めた人材の確保を考えていかなければならない。

#### 人手不足対策 ダイバーシティ とインクルージョン

2015年の統計によると、奈良県

では、生産年齢（15歳～64歳）の女性の労働力率が61.1%と最も低く、65歳以上で働いていない方が24万人おられる。よって、人材不足を補うには、雇用条件などを工夫し①女性②シニア③外国人などに働いてもらう多様な人材採用（ダイバーシティ）に取り組むこと。そして大事なものは、インクルージョン（組織の一体感の醸成）。完全有給消化を目標にした調剤薬局では、従業員の趣味等を共有し、趣味のために休む場合は全員でフォローし、売上げに影響がでないように経営参画意識も芽生えた結果、一体感が強まり、有給消化はもちろん、調剤以外の商品提案などで売上げが倍になった例がある。事業主は、安い労働力だけに注目するのではなく、職場の質を高める事が大切だ。

#### アフターコロナ社会の働き方

従来の日本型雇用は、真っ白な人材を終身雇用する「メンバーシップ型」だったが、社会変化に対応するため、高い専門性と意欲を備えた人材に対して職務に応じて報酬を支払う「ジョブ型」に変

化してきている。しかし、中小企業が専門人材を雇用する事は簡単ではない。そこで、必要な人材が必要な時に確保するために、優秀な人材を皆で使おうという「プロシェアリング」という「雇用」から「活用」と外部人材を活用する環境が整ってきた。

これまで兼業・副業は原則禁止とされてきたが、政府の「働き方改革」の一つとして、原則自由へと方向転換してきており、外部の副業プロ人材を活用する事で経営課題の解決を図る事が可能になった。人生100年の時代、セカンドキャリアを目指してスキルアップを図るために副業を希望する人材が増えている。奈良県としても、「Web マーケッター」「社内基幹システムの刷新」「販路拡大」等に対し外部人材活用を提案し、実績を上げている。

奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点では、奈良県企業がさらに成長するため必要な人材をご紹介します様々な取り組みを行っている。私も含めて3名のスタッフが対応させていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。

### 奈良県企業に『人』を支援する奈良県の仕組み

奈良県地方創生の取組として、県内中小企業が着実な成長を実現できるよ「最適な人材」をご紹介します。

#### 県内就労あっせん・起業支援センター

#### しごとiセンター

#### プロフェッショナル人材戦略拠点

地域の関係機関等と連携しながら、中小企業の経営課題を明確化し、それを克服するプロフェッショナル人材の活用を経営者に喚起し、民間人材ビジネス事業者等を通じてマッチングの実現をサポートします。

#### 奈良県無料職業紹介（高度専門人材）

奈良県経済を支える者となる高度専門人材を奈良県内で確保し、今後の事業拡大に向けて実務経験の豊富な人材を求め県内中小企業の求人ニーズに対応いたします。

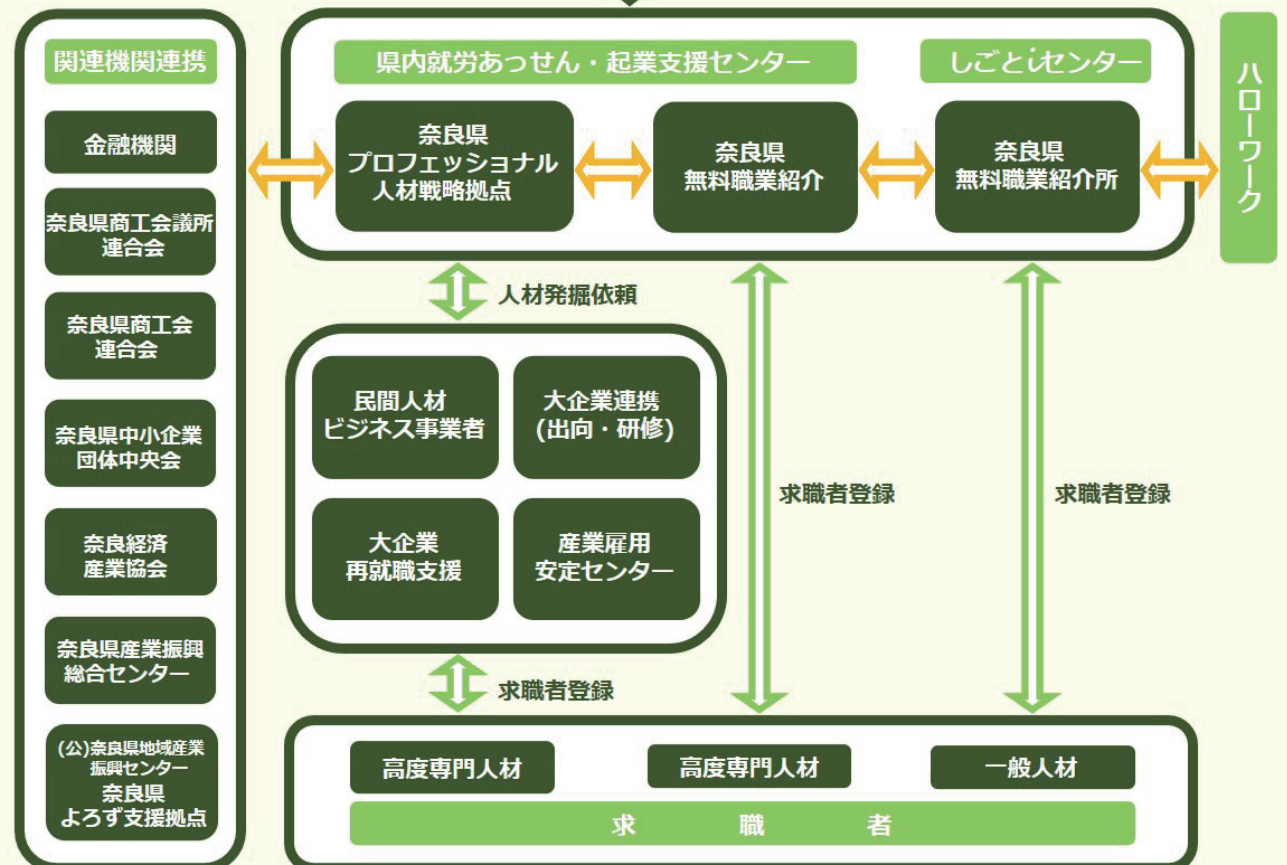
#### 奈良県無料職業紹介所（一般人材）

しごととマッチングアドバイザーが中小企業の求人ニーズをきめ細かく把握し、求職登録者から求人ニーズに合った求職者を紹介致します。

#### 奈良県の中堅・中小企業

#### 1. 経営課題の聴取と人材ニーズの具体化

#### 2. 企業ニーズにマッチする高度人材から一般人材まで幅広く支援



#### プロフェッショナル人材・高度人材とは

人材タイプ	「経営革新」に対する貢献領域
経営人材・経営サポート人材	経営を支える右腕として企業マネジメントに携わる人材（将来の経営幹部候補も含む）
新事業立ち上げ・販路開拓人材	新規事業や海外現地事業の立ち上げなど、企業にとって新たな事業分野や販路を開拓し、売上増加等の効果を生み出す人材
生産性向上人材	開発や生産等の現場で新たな価値（新たな製品開発、生産工程の見直し等）を生み出すことのできる人材